



ワークショップを開催しました（H24.02.13）

奈良県立医科大学 女性研究者支援センター「まほろば」では、文部科学省の平成 23 年度科学技術人材育成費補助金「女性研究者研究支援事業」採択事業の一環として、平成 24 年 2 月 13 日（月）に、本大学医学科の学生を対象とした「**医師のキャリアデザインについて考える**」というテーマのワークショップを開催しました。

医師のキャリアには、臨床研修病院、専門科、研究職、勤務機関、勤務形態等、多様な選択肢があるため、より良い選択、キャリア構築のためには、学部生や臨床研修医といった、なるべく早い段階から自分の望むキャリアデザインを考えることが重要であるといえます。また、医師は社会性を強く帯びた職業であり、そのことを自覚・覚悟しておくことも大切です。今回のワークショップでは、仲間や先輩医師とともに、特に下記の 3 点について考える“きっかけ”をつかむことを目的としました。

- ・自ら望む社会貢献
- ・職業上の達成目標
- ・目標実現に向けた課題と解決策

今回参加してくれた学生は、全員がワークショップ初挑戦でしたが、決められた時間の中で自分の考えをまとめる個人ワークと、それをメンバーに説明するグループワークに積極的に取り組み、正解のない課題を仲間とともに刺激合いながら学びました。

また、参加者からは下記のような感想を頂きました。

“5 人各々の意見を聞くことで、自分の考えが広がった。特に女性医師が抱える問題について、今まであまり深く考えていなかったが、考えるきっかけになった。”（男性）

“5 人それぞれが違った考え方を持っていて、話し合うことで新しい発想・思想を知ることができて楽しかった。ワークショップは想像以上におもしろかった。”（女性）

ワークショップは参加した学生から非常に好評で、自らのキャリアビジョンを考えるきっかけとなりました。今後は、

この取り組みを看護学生や研修医にも拡大する予定です。特に、同性医師のロールモデルが乏しい女子学生や研修医に、先輩の女性医師と気楽に相談できる場を提供し、男性の同僚とともに長期的なキャリアデザインを考える中で、相互理解を深めてもらいたいと思います。男女共に、実力ある医療者、競争力ある研究者としてキャリアを積み、社会全体の利益に繋げるような取り組みにしていきます。

